

教校部「仏教学（唯識）」 担当：上野 隆平

唯識とは、天親菩薩が大乗転向以後に傾倒した思想の内容（私たちが見たり聞いたりする物事は、すべて自らの心が現わし出したものに過ぎない）を示した言葉で、唯識を学ぶとは、概して天親菩薩やその兄、無著菩薩の著作を通して、大乗仏教の教えを学ぶことを意味しています。

講義では、まず唯識思想を確立したインド大乗仏教瑜伽行派の歴史と教え（アーラヤ識、三性説、菩薩道）について概説し、それが終わり次第、無著菩薩の主著で、大乗仏教の概説書として名高い『撰大乘論』の本文を読んでいきたいと思ひます。本年は、特定の章を通読するのではなく、浄土（土を浄める／浄らかな土）についての言及がある箇所を横断的に採り上げて読んでいきたいと思ひます。また、必要に応じて『大乘莊嚴經論』等の関連文献の所説も採り上げるつもりです。個人的には、七祖講読（浄土論）の講義とあわせて、瑜伽行派の浄土観を総合的に把握することを一つの目標にしたいと思ひます。

講義で使用する資料は適宜配布する予定ですので、特定の教科書を購入していただく必要はありません。